令和4年度 校内研修計画

1 研究主題

自ら考え、学び、共に高め合う、コミュニケーション力をもつ子の育成 ~言語活動の充実を図る授業づくりを通して~

2 主題設定の理由

【小中一貫として】

平成30年度の岩国中学校区での研修会で、各小学校と中学校の児童や生徒の現状について情報交換したところ、表現する力(自分の思いや考えを発表したり、文章に書いたりする力)や、日頃の生活の中であいさつが苦手な子どもが多い等の共通の課題が見えてきた。このような力をつけるためには、「コミュニケーション力」をつけることが大事ではないかという結論に至った。そこで、「コミュニケーション力」に焦点を当て、研究に取り組んでいくこととした。「コミュニケーション力」の共通理解として、「自分の考えと比較しながら友達の考えを聞くとともに、自分の考えを文章や言葉で相手に分かりやすく伝えること」とした。

本年度は、「岩国市小中一貫教育に係る確かな学力推進研究事業」の学力推進研究校の指定を受け、岩国中校区の小中共通研修主題として「自ら考え、学び、共に高め合う、コミュニケーション力をもつ子の育成」を設定した。

【本校の課題から】

本校校区は岩国市の中心に位置し、吉川藩の城下町として発展してきた町である。校区には錦帯橋をはじめとする文化財や多くの歴史的建造物が存在している。地域性を生かした伝統・文化教育により、自分の住む町のすばらしさを学び、学習したことを家族や地域の人々に伝えたいという思いをもっている。児童は、明るくのびのびと生活しており、様々なことに興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。

令和3年度の学年別学力向上プランを見ると、どの学年も重点目標である「考え表現する力の向上」の中に、「自分の考えを言葉で表現することが苦手である。」「文章から問われていることを正しく読み取ることができない。」「言葉や式を使って説明する、または書くことが難しい。」などの課題が挙げられた。

そこで、副題を『言語活動の充実を図る授業づくりを通して』とした。言語は児童の学習活動を支える重要な役割を果たすものであり、言語能力はすべての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となるものである。言語活動の充実を図ることは、コミュニケーション力の育成につながると考え、この副題を設定した。

3 研究の仮説

各教科の授業の中で、児童が自ら考え表現し、互いの考えを検討し深め合うような言語活動を仕組むことで、相手の意図を理解し、自分の考えを的確に伝えるコミュニケーション力を高めることができるようになるのではないか。

4 研究の視点

視点1 主体的な学習につながる課題設定の在り方

視点2 互いの考えを深め合うための言語活動の在り方

視点3 自分の学んだ内容や学び方を確認し、次時に生かす振り返りの在り方

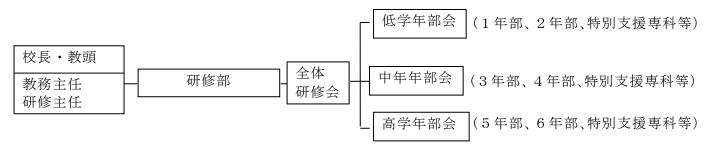
5 研究の内容

(1) 授業づくり

- ・「岩国市:ICTを活用した『新しい学習様式』」による授業改善
- ・言語活動を充実させる工夫
- ・振り返りの在り方の工夫

- (2) 講師を招聘しての全体研究授業(低学年・中学年・高学年の公開授業)
 - ・ワークショップ型研究協議、教師相互評価による授業改善
 - ・隣接学年での教材研究及び授業研究
 - ・ブロック(低学年ブロック・中学年ブロック・高学年ブロック)ごとの指導案検討
- (3) 児童の学力向上のための日常的な取組
 - ・学習 10 か条の徹底
 - ・家庭学習の手引きの配布
 - ・家庭学習強化週間の実施(学期に1回)
 - ・やまぐち学習支援プログラムやタブレット(ドリルパーク)の活用
- (4) 地域・家庭と一体となった取組
 - ・いこいの日(毎月15日のノーメディアデーに、親子読書を推進)
 - ・学校運営協議会委員の校内研修への参加
 - ・生活科・総合的な学習の時間での地域学習の充実

6 研修組織



令和4年度 研修の予定

期日	研修予定
4月27日 (水) ①	○今年度の研修テーマの確認
	○年間研修計画
	○授業者決定
6月1日(水)②	○授業実践についての情報共有
	○ICT 活用研修
7月21日 (木) ③	○外国語研修
	○全学調・確認問題の分析
7月22日(金)④	○特別支援教育研修
	○プログラミング年間指導計画の確認
7月27日(水)⑤	○学年研修
8月23日 (火) ⑥	○指導案検討(全体)
	・指導案の説明(髙下先生・岡村先生)
9月14日(水)⑦	○第1回研究授業(岩国中校区公開)
	2年 髙下 香織先生
10月12日(水)⑧	〇第2回研究授業(岩国市公開)
	6年 岡村 沙紀先生
12月7日(水)	○指導案検討(全体)
職員会議	・指導案の説明(中村先生)
1月18日(水) ⑨	○第3回研究授業(岩国中校区公開)
	4年 中村 香穂先生
2月8日(水)⑩	○研究集録の原稿作成
	○1年間のまとめ、来年度への課題の共有

